

2019 年度交換留学(派遣) 報告書 ①

所属学科／研究科	文化財学科
留学先国	韓国
留学先協定校	韓国伝統文化大学校
留学期間	約 1 年間
留学時学年	2 回生
留学先での所属	保存科学科
渡航日／発着便	2019 年 2 月 28 日 関空 → 仁川
帰国日／発着便	2020 年 1 月 30 日 仁川 → 関空
留学先で取得した単位数合計	19 単位
本学で認定された単位数合計 (※30 単位上限)	19 単位 (自由選択科目一括)
海外留学助成金	23 万円 (前期 13 万円+後期 10 万円) 助成
検定試験合格者助成金	—
備考	—

留学成果レポート

■なぜ、派遣先国・派遣先大学への留学を希望しましたか？

韓国語の講義を受講して、韓国語に興味を持ち、上達したいと思ったから。そして、自分の将来学びたい保存科学が学べ、日韓の文化財の違いを肌で感じられると思い希望しました。

■派遣先大学で、どのようなことを学習・研究しましたか？

文化財を分析する時に用いる蛍光X線分析装置やX線回析装置を中心に原理について学んだり、顔料や木材の識別・分析方法等を学習しました。

■留学するにあたっての目標は何でしたか？ 目標は達成できましたか？

語学力の向上。韓国の文化、文化財に沢山出会うこと。外国人の友達を作ることが目標でした。語学力は日頃の韓国語の授業や現地の学生と会話することで身につけていきました。そして、留学期間中、個人でもたくさん博物館や現地に足を運びました。また、学科の踏査で事前学習をしてから現地へ足を運び、より深く学びました。外国人の友達を作る目標については、学科の学生を中心に友達ができました。日本に帰国してからも連絡を取り合い、仲を深めていきたいです。

■派遣先国・大学で、どのような国際交流を行い、どのような活動をしましたか？

韓国伝統文化大学校の学生達と日韓の文化について話し合ったり、一緒に文化財を見に行きました。11 月には、仲良くなった友達と一緒に、日本で正倉院展を見に行き、実家に泊まって日本の良さを少しながらですが感じてもらいました。

■留学中、どんな困難や苦労がありましたか？またその困難をどう乗り越えましたか？

グループ発表が多く、時には発表メンバー同士で意見の衝突がありました。自分の思っていることがきちんと伝わらず、嫌な思いをさせてしまったこともあります。そんな時こそ、発表メンバーでミーティングの機会を増やし、意見の擦り合わせや近況報告をして、発表の準備をしっかりとしました。本当に苦労しましたが、今振り返ってみると一つのよい思い出です。人に物事を伝える難しさを改めて感じた瞬間でした。

■留学前と比べて「学習面」で成長できたと思う点はなんですか？

まずは語学力が向上したこと。留学以前はある程度のハングルの読み書きができる程度でしたが、今では日常生活に支障をきたすことがないレベルまで成長しました。これからも語学力の向上に励み、韓国の専門書を理解できるレベルまで少しずつですが、目指して頑張っていこうと思います。
文化財及び韓国の文化にも沢山触れました。講義では、文化財の分析を中心に機械の原理を学びました。原理を学んだ後に、実際に研究所に行き、学芸員の方の話であったり、現場の様子を拝見させていただきました。このとても貴重な経験を生かして、両国の保存科学の分野に少しでも貢献できるように今後も勉学に励みたいと思います。

■留学前と比べて「人物面」で成長できたと思う点はなんですか？

自分自身で考え、行動ができるようになったことです。留学期間中、何度も困ったことや苦労したことがありました。そんな時、自分で考え言葉にしたり、行動することで乗り越え解決することができました。また、自分から積極的に話しかけて、色々な方とコミュニケーションをとりました。普段からのコミュニケーションの大事さに気づかされ、お互いに助け合いの精神で日々楽しく過ごせました。
留学期間中も日韓の情勢がとても気になっていたため、しっかりと自分で情報を収集することができ、国際感覚を養うと同時に、国際情勢についても敏感に感じるようになりました。

■今後、この留学経験をどう生かしていこうと考えていますか？

これまで通り韓国語の勉強を続けていきます。そして、韓国語能力試験等を受けて、自分の語学力を高めていきます。また、海外に一年滞在していたことによって、国際情勢についても自ら進んで情報を入手するようになりました。留学で身につけた国際感覚を生かして、視野を広げていきたいです。そして、留学期間で培った、物怖じせず積極的に飛び込んでいくチャレンジ精神をこれからも生かして、様々なことを探求していきたいです。

■留学は楽しかったですか？留学して良かったですか？留学を終えての感想を

留学期間はとても有意義な時間を過ごすことができました。最初は不安やドキドキした気持ちでいっぱいでしたが、ルームメイトやバディの学生をはじめ、現地で色々な方に支えられ、頑張りができました。一年を通して、楽しいことも沢山ありましたが、辛い時も沢山ありました。その時に相談に乗ってくれた親や友達の存在はとてもありがたかったです。こうして留学できたのも、親のサポートがあったからです。一年間心配ながらも送り出してくれた親には感謝してもきれません。ここで培った経験を今後の人生に生かしていきたいです。

■韓国及び派遣先大学の印象は？

韓国伝統文化大学校は扶余郡に位置しており、百済の都として栄えた場所であるため、文化財がたくさんあります。また、郊外に大学があるので、とても静かな雰囲気での勉強することができました。また、学生の人数も多くないので、少人数講義が可能であり、教員と学生の距離が近いと感じました。

■留学して一番困った・大変だったことは？

自分の伝えたいことが上手く伝わらず、とても苦労しました。留学前に単語や文法を勉強していましたが、実際現地に行くと伝わらないという場面があったので、きちんとした発音を身につけるところから始めれば良かったと感じましたが、時間が経つにつれて徐々に伝わらないという機会が減っていきました。

■留学中の楽しかった・嬉しかったできごとは？

ある程度の単語・文法を学習して、一人で文化財を見に旅行することが楽しかったです。もちろん、学科の友達と行くのも楽しいのですが、自分で事前準備をして、自分の力で色々な方に話しかけて旅行したことが思い出に残っています。

■留学先に持ってきて良かった・持ってくれば良かったと思ったものは？

録音機。
留学当初は講義についていくのが難しかったので、録音して講義が終わってから聞き返したりするのに役立ちました。

■留学中のお金の管理はどうしていましたか？

基本クレジットカードで支払いをしていました。残高が少なくなってきたら親に仕送りしてほしいとお願いをしていました。

■派遣先大学での生活環境はどうでしたか？

二人一室の生活空間で、ルームメイトと日々楽しく生活することができました。ルームメイトに恵まれていたので、本当に良かったです。寮の状況としては、寮費(光熱費 etc)は一年を通してすべて無料でした(夏季休暇、冬季休暇含む)。食事は学生食堂やコンビニ、大学近くのご飯屋さんで取りました。

■派遣先大学での課外活動はどんなものがありましたか？

スポーツ(主にサッカー、バスケットボール)、ヨガ、ランニング、茶道、習字、軽音など

■どのような国籍の留学生がいましたか？

中国人留学生は一年通して5人でした。日本人留学生は自分以外は誰もいませんでした。

■渡航前にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

少しでも韓国語に触れて、単語を覚えておくとよい。発音は現地に行けば自然とできるようになるので、そこまで心配しなくてもいいと思います。自己流の発音に慣れている場合は、現地で矯正するのに少し時間がかかるかもしれません。渡航してからのことを考え、仕送りのことや、現地で使う連絡先、自身が持っていく荷物など、しっかり事前準備をすることが大切だと思います。

■渡航後にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

銀行口座を作る。携帯電話を契約する(バディの方が手助けをしてくれます)。

■今後の派遣留学生にむけてアドバイスを

はじめは不安の方が大きいと思いますが、実際に渡航してみると不安を感じている場合ではないぐらい、あっという間に時間が過ぎていきます。留学生活を思う存分楽しんでください。そして、留学はとても良い経験になります。海外の友達をたくさん作れたり、文化体験ができるので、自身のこれからの人生にとってプラスになることがたくさんあると思います。その一方で、大変なこと、辛いこともたくさんあると思います。一つひとつ乗り越えて、一年後に逞しくなった姿で奈良大学に戻ってくることを願っています。体調には十分に気を付けて頑張ってください。

留学体験記

留学しようと思ったきっかけは、韓国語の講義を受講して、韓国語に興味を持ち上達したいと思ったこと、日韓の文化・文化財を肌で感じたいと思ったからです。留学したことによって、専門分野の知識・技術を磨くことは勿論、語学を通して海外の友達を作ったり、様々な研究所・文化財を見学することが出来ました。

決して楽しいことばかりではない留学生活でしたが、海外での生活経験は、今後の人生において一生忘れることのないかけがえのない思い出・宝物になりました。これからも国際交流を続けていきたいです。

交換留学制度を利用することによって、手厚いサポートの中で留学することが出来ますよ。不安なことも多いと思いますが、それ以上に貴重な体験が出来ます。恐れずにチャレンジしてみてください！！

